

別表 支部・委員会の活動

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-6 シンポジウムの開催	茨城	講師を外部または会員に依頼し、登山と自然・山関連や海外登山等の講演会を開催して、山や自然への関心を高め会員の増加に努める。(4, 6, 9, 11, 1月に実施予定。一般参加者100人以上を目標)。
	栃木	「ヒマラヤの集い」として講演会を実施し、異文化理解と登山活動の発展に寄与する。11月に開催。一般参加者80名。 「山の講演会」年1回、6月に開催。一般参加者80名程度。安全登山や山岳文化活動の啓発を行う。一般財団栃木県青年会館と共催、栃木県山岳連盟の後援を得て実施する。
	埼玉	29年6月「ハイキングレスキュー講習会」講師は埼玉県山岳連盟遭難対策委員長の瀬藤氏。29年9月「登山グッズの説明を含む安全登山の講演会」講師は日本山岳ガイドの平川氏。30年1月「埼玉県の遭難事故事例に関する講演会」講師は埼玉県警山岳救助隊 飯田副隊長。30年2月「山のファーストエイド・心肺蘇生講習会」講師は恵氏と渡邊氏
	越後	「山の日」制定記念事業として、7月25日に高頭祭を実施する。支部会員70名と一般参加者30名の予定。越後支部主催により、弥彦山大平園地の高頭仁兵衛(第2代会長)寿像前で開催する。日本山岳会本部の幹部から参加を予定し、記念講演も行っている。その後支部会員で清掃登山を行い、弥彦山頂へ移動、山頂奥の院で安全登山祈願祭を行う。夕刻より松明登山祭に参加し、弥彦駅まで市中行進する。
	富山	「山岳講演会」山岳に関する安全、自然、文化の普及啓発を目的として実施する。3月25日に実施。一般参加者80名。
	福井	「泰澄祭」：5月28日(日)一般公募100名～120名・支部会員15名程度の参加予定。室堂で、ミニコンサート開催。
	山梨	奥秩父、笛吹川西沢渓谷開拓者である田部重治の遺徳を偲ぶ碑前祭を本年初めて主催する。5月21日、西沢渓谷で開催し、地元山梨市笛吹支所とタイアップし、地域活性化にも貢献していく予定。今後は、毎年秋に奥秩父西端の金峰山・瑞牆山麓で開催する木暮祭と並行的に実施していく予定。参加予定者50名。支部会員は主催者、スタッフとして参加。 第58回木暮祭 当会第3代会長木暮理太郎の遺徳を偲ぶ碑前祭。当支部、山梨県山岳連盟、増富ラジウム峡観光協会で構成する木暮碑委員会が主催、北杜市が協賛。毎年10月第3日曜日(本年は10月15日)、金峰山麓の北杜市須玉町金山平で実施。
	岐阜	山に関係する講師を招聘して、山岳講演会実施。11月に開催予定。演題・講演者まだ未定。一般参加者90名程度を予定。
	京都 滋賀	登山活動、登山文化啓蒙のための講演会を実施。年3回程度を予定。
	関西	「藤木祭の実施」10月1日に、六甲山ロックガーデン入口の藤木九三レリーフ前にて藤木九三を偲び、登山振興に繋げる祭事を行うと共に、記念山行を実施する。大阪府山岳連盟・兵庫県山岳連盟と共催で「山の日」事業として実施する。 毎年11月の第3土曜日に、山岳図書の著者の講演と懇談の「著者と語る会」を開催する。
	四国	4月8日(土)、高松市峰山公園内にて「小島鳥水祭」を開催する。顕彰碑前にて碑前祭を実施し、登山愛好家及び一般市民に対する小島鳥水の紹介を通して登山振興を図る。参加見込みは80人程度。行楽で公園を訪れている人達に小島鳥水祭を啓発する。
	福岡	「岳人のつどい」1月に実施。一般参加100名程度。山の映画会や講演会を太宰府で開催。 「パハル・フェスタin坊がつる2017」一般参加100名程度。法華院温泉にて講演会、登山講習会などを実施。4月29・30日 講師：鈴木みき氏予定
北九州	「楨有恒祭」：風師山楨有恒記念碑前にて今年から実施する。(10月)	
宮崎	「宮崎ウエスタン祭」毎年、11月3日(文化の日)に高千穂町役場・当支部主催により高千穂町で開催。参加者約100名(日本山岳会委員60名・一般参加者30名・地元小学生10名)式典の後、地元村おこし協議会主催の安全登山の祈願祭・郷土芸能等が行われ、会員と地元との交流・親睦を図り、登山の振興に努める。	

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-7「山の 日」事業プロ ジェクト	北海道	「山の日」記念事業として「子供サマーキャンプ」、「雪崩講習会」、「山の日記念登山」事業を開催。このうち「山の日」記念登山事業は札幌近郊の山を対象にした家族を含めて実施。場所：札幌近郊の山(藻岩山など)。日程：8月11日。参加者：公募で30名程度 支部会員は 事業運営のサポートとして20名程度。 「子供サマーキャンプ」、「雪崩講習会」の詳細は該当欄にて記載。
	青森	「山の日親子登山」山の日8月11日に青森県内三地区の山で親子登山を実施する。 一般参加予定者 40名
	山形	「山の日」事業に関して下記の宮城支部に記載
	宮城	「《山の日》 記念隣県支部合同山行事業」 昨年施行された「山の日」を記念して隣接県支部と連携し、一般県民にも参加を集い県境の山への山行を実施する。実施に当たっては、マスコミの取材等を依頼する。
	福島	「山の日・親子登山」8月11日「山の日」に支部主催の親子登山を実施する。場所は安達太良山周辺とし、20組の親子登山を目標とする。(I-15にも重複記載)
	茨城	JAC茨城支部・茨城岳連・茨城労山の山岳3団体が協力し、山の日に向けてのイベント企画を提案し県への働きかけをすることにより実施できる方向で検討していく。
	栃木	「「山の日」全国大会」8月11日に第2回となる「山の日」全国大会が本県那須で開催される。栃木支部が構成員である栃木県「山の日」協議会が実行委員として参画する。「山の日」に合わせ、広くその趣旨を啓蒙する活動に協力する予定。支部会員は実施行事にボランティアで補助員として参加することになる。
	群馬	「山の日イベントin谷川岳」みなかみ町、県岳連、県労山、谷川岳エコツーリズム協会とともに、谷川岳周辺で実施。自然観察から登山まで数コースに分かれて山を楽しむイベント。群馬支部では昨年引き続き山麓の自然観察ハイキングを予定している。8月山の日に実施 一般参加者100人 「ぐんま山フェスタ2017」年1回 8月に実施 一般参加者5500人。上毛新聞社、県岳連、県労山との共催で前橋市の群馬県庁で8月上旬の週末に実施している。詳細は未定だが、一般向けの講演や写真展、資料展示などを予定。今年も5500人以上の参加を見込む。支部会員はボランティアで講師、相談員、補助員として参加予定。
	千葉	28年度に初めて実施した「親子登山」を継続事業として実施。茂原市子どもセンター主催、千葉支部共催、茂原市教育委員会後援。親子15組程度。支部会員は、指導者・補助員として参加予定。 12月に実施。
	東京多摩	「山の日」施行記念イベントとして①高尾599ミュージアムとの共催による「親子高尾山自然観察ハイキング」 8月7日。 日程未定。一般参加者40名。参加支部員14名。②おくたま地域振興財団との共催で、「セラピーウォーキング」実施。8月実施。参加者30人。参加支部員10名。③「スケッチ山の絵7人展」開催。日程未定。参加支部員10名。
	神奈川	記念講演会を一般公開で実施する。(1)神奈川大学体育会山岳部(団体会員)による活動報告。(2)H28秩父宮賞受賞の鈴木正崇氏による講演「相模の山岳信仰<大山・八菅・山北・秋葉>」
	越後	糸魚川ジオパークこども自然塾(仮称)：小学生(高学年)を対象に、「山の日」8月11日(金)に糸魚川市蓮華温泉周辺で行う。支部会員が講師となり、自然観察やハイキングなどをとおして自然への興味と促し、ハイキングの楽しさを体験してもらう。
	富山	「山の日記念」親子登山：山の日制定を記念して一般募集の親子登山を8月11日(金曜日)に実施する。場所は検討中
石川	山の日記念 第2回秋山親子登山 10月 一般参加10名。参加者は白山親子登山に初回から3回までの参加者を優先とする。 山の日記念事業 「久弥祭」 深田久弥を愛する会と共催	
次頁に続く	山梨	「山の日記念事業2017 第3回やまなし登山基礎講座」9月から12月にかけて10回程度の連続講座として実施。一般参加者見込30名(延べ300名)。 山梨学院生涯学習センターと共催。 登山初級者のための安全登山に関する知識・技術・遭難防止策および実践登山ならびに山岳文化に関する講座。支部会員はスタッフとして参加。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-7 「山の日」事業プロジェクト	信濃	<p>地域での登山振興や関係団体との交流連携を図ると共に、開かれた支部活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①岳都松本山岳フォーラム（11月）の実行委員としてフォーラムの運営に参加する。 ②上高地開山祭や松本市海外都市交流委員会（カトマンズ、グリンデルワルド）への参加 ③県山協との連携。 ・第71回ウエストン祭の開催 本部主催/支部主幹 6月4日ウエストン師の功績を偲び、山の安全を祈願すると共に記念講演を通じて、登山の振興と環境保護などの啓発を行う。また、前日には、徳本峠越えの記念山行を実施する。この記念山行では、一般参加者をはじめ、地域の公民館活動と連携し、次世代を担う子供達や家族の峠越えをサポートする。 ・山の日記念/上高地登山教室の開催（7月）。 上高地を基点に登山の基礎や山の楽しさを伝える教室を開催する。
	静岡	「山の日」記念ハイク 県の主要山岳団体（県岳連、静岡市岳連、静岡県労山）との共同開催で一般向けに実施する。実施時期は現在検討中。
	東海	①夏山フェスタの開催 6月17日～18日に開催。集客目標7000人。夏山フェスタ実行委員会が開催主体ではあるが、企画、運営に全面協力（参加支部員：80名）
	京都・滋賀	8月に「山の日」に関連する事業として、キャンプ場での活動、登山活動を実施して、「山の日」の周知を図り、キャンプや登山の楽しさを一般参加者に広める。一般参加者30名、支部参加者20名を予定。
	関西	「山の日」関連事業の実施。：毎年11月に、子供を中心とした「わんぱく探検」を実施する。毎年8月11日に、新聞社主催の「山の日」イベントに参画・支援する。毎年11月の第3土曜日に、山岳図書の著者の講演と懇談の「著者と語る会」を開催する。一部 1-15にも重複記載
	広島	「ひろしま「山の日」県民の集い事業」：「山の日」制定を働きかけた「ひろしま『山の日』県民の集い」実行委員会の主要メンバーに、当初から広島支部会員が加わり、官民一体となってひろしま「山の日」県民の集いを実施してきた。第16回のH29年は、広島支部は6/3(土)「霧ヶ谷湿原 自然再生地」(下流部2.5ha)の保全活動 を行ない、6/4(日)には北広島会場と東広島会場で初心者の為の登山教室、北広島会場でジュニアツリークライミングを行なう予定。
	四国	山の日に関連する講演会及び講習会等を実施する。対象は一般登山愛好家及び一般市民、100名程度。受講生は地元紙、パンフ等により募集する。7月実施予定。
	福岡	山の日制定記念「夏山フェスタin福岡2017を開催。 6月24日・25日 5000人規模の大イベント予定
	北九州	「山の日」記念行事として 「風師山家族登山」を開催。総勢約100人参加予定
	東九州	「山の日」記念登山行事の実施：・山の日にちなんだ登山行事を実施する。・県内の収容山岳団体等に共催を呼びかけて取り組むこととするが、共催が出来ない場合は支部単独での開催計画を検討する。
山の日事業委員会	<p>「山の日」の意義を国民に周知させるための全国規模での記念事業の開催。 「山の日」啓発リーフレットの作成と支部への配布。 「山の日」に関連した展示パネルの作成と、各種「山の日」関連イベントへの協力。 各地方自治体主催の「山の日」関連事業に対し、講師派遣等の協力を行う。 第2回全国山の日記念事業（栃木県那須）への役員派遣。全国「山の日」協議会に対し、法人会員として諸活動への参加・協力をしている。</p> <p>支部連合による国内9ブロックでの「山の日」関連事業を開催する。各ブロックでのイベント開催に対し、委員会は補助金と講師派遣相談等によるサポートを行なう。</p>	

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-9 登山教室・安全登山普及講習会の実施	北海道	NHK主催の登山教室に指導者派遣(夏冬に実施)。4-8名程度指導員として参加
	岩手	地域の登山初心者のために安全登山や登山マナーなどの普及指導を、五葉山にて実施する。支部会員は指導者、補助員として参加予定。9月に実施、一般参加者10名。
	宮城	登山に関心のある一般県民を対象に、年2回以上、公募型登山教室として実施する。公募に当たっては、地元紙である河北新報を利用するなどして広く周知を図る。 年2回、県内の山をフィールドに、10組程度を対象に親子で楽しみながら山に親んでもらえる親子登山教室を開催する。参加者には支部発行のキッズ会員証を交付する。また、親子登山教室の実施に当たっては、地元教育委員会との連携を図る
	秋田	自然学習センター主催の太平山登山へ支部会員がボランティア協力をしている。(年5回程度小・中・高・一般など150名程度)
	山形	例年実施している一般公募登山を年2回予定したが、スタッフ不足の為、企画段階で取止め、清掃登山に変更。詳細は該当欄に記載。
	福島	一般登山者を対象とした「フリークライミング講習会」を継続(本年度4回目)実施し、安全登山の普及と技術の向上を図る。
	群馬	「チャレンジキッズ」子ども登山体験。岳連が主催する群馬県内での子ども対象の登山体験イベント。年3～4回、冬山を含めて実施。谷川岳周辺での岩・沢登り体験やスノーシューハイクなど。主催の群馬県山岳連盟に協力 若い会員の入会を促進し、密度の濃い育成を図る。年4回の日帰り山行を実施 各回10人程度が参加。
	埼玉	29年9月「登山グッズの説明を含む安全登山の講演会」講師は日本山岳ガイドの平川氏 30年1月「埼玉県の遭難事故事例に関する講演会」講師は埼玉県警山岳救助隊 飯田副隊長 30年2月「山のファーストエイド・心肺蘇生講習会」講師は恵氏と渡邊氏
	東京多摩	登山教室運営：2年間のプログラムで、多摩地域に安全登山を目指す自立した登山愛好者を育成する。4月～6月、立川市と共催で初心者向け登山講座を実施。30名。7月～9月、独自に初心者向け登山実習を実施。10月～翌々年3月、その修了生対象に初級登山教室(6期生)を実施。初級登山教室修了時に入会促進を図る。今年度は、5期生と6期生とが同時並行で学ぶ。参加支部員25名。 講演会：①6月末 「奥多摩地域山岳遭難の実態」 一般参加者20名 参加支部員20名 ②10月21日 「講演内容未定」 一般公募者120名 参加支部員20名 ③1月27日 「講演内容未定」 一般公募者50名 参加支部員80名 ④11月 「自然保護活動の啓蒙テーマ」 一般参加者60名 参加支部員10名
	越後	「公募登山」第1回(7/1～2)上高地集会(焼岳、六白山など)、第2回(8/27)雨飾山、第3回(10/中旬)塩の道又は小谷周辺の峠。地元新潟日報や石井スポーツ新潟店でポスター掲示により、一般参加者20名程度公募する。支部会員による山行企画と事前講習を行い、引率ガイドをしながら登山実技指導を行う。同時に、一般参加者の日本山岳会入会勧誘を行う。 県山協主催の登山講習会等に支部会員の講師派遣を行い、安全登山の普及に努めていく。
	石川	「第三回白山親子登山教室」：座学7月 登山8月 15名 支部員15名。座学日程は登山前月の一日を想定、山の楽しみ方・天候・歩き方・緊急時対応など支部会員により講義。登山は支部員サポートにて白山室堂泊1泊2日の予定とする。 「山の日記念 第二回秋山親子登山」：10月 一般参加10名 支部会員10名参加者は白山親子登山に初回から3回までの参加者を優先とする。
山梨	第3回やまなし登山基礎講座：9月から12月にかけて10回程度の連続講座として実施。一般参加者見込30名(延べ300名)。登山初級者のための安全登山に関する知識・技術・遭難防止策および実践登山ならびに山岳文化に関する講座。 登山教室の実施：第1回、第2回やまなし登山基礎講座受講修了生を対象に、年数回の公募登山を実施予定。	

次頁に続く

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-9 登山教室・安全登山普及講習会の実施	信濃	「山の日」の欄に記載
	静岡	ハイキングセミナーを年四回（4月、6月、1月、2月）公募により静岡県内の山で実施する。一般参加者 年50名。地域の一般の登山初心者のためのセミナーを静岡県内の低山ハイキングコースにて実施している。参加見込は毎回10～20名程度。支部会員は指導者・補助員として参加。
	東海	安全で楽しい登山普及の為、中日文化センター、朝日カルチャー教室、NHK文化センターにて開講。対象は中高年一般。他に若い男女を対象にした山ガール・ボーイ講座も予定。月1回の講座と山行。参加生徒数見込：年400人、支部会員はボランティアで指導者・補助員として参加：年120人。教室卒業者は正会員又は支部友会員として受け入れる。若年層は東海ユースへも受け入れる。
	京都 滋賀	登山教室：一般登山初心者、友の会会員を対象に、登山教室を開催する。
	関西	初心者・中級者・上級者各クラス毎に、共通の3回の座学と、クラス毎に9回の実技講習を行う。「安全登山の普及」を目的に、山登りの初心者から雪山や岩登り等の本格的な登山を目指す方々を一般公募して実施している。
	広島	「中国新聞文化センター登山講座 講師派遣」広島・呉・福山・岩国の4地区で毎月1回開催の「里山ハイキング」・「初級登山講座」・「中級登山講座」の3講座（「親子登山講座」・「ユース登山講座」は休止）10クラスに支部会員から講師とアシスタント講師を派遣する。（延べ240名）受講生は、市民が延べ約1,200名が受講予定。
	四国	昨年に引き続き、愛媛県でフラワートレッキング講座を10回程度行う。地元広報誌に講座の案内を掲載し、登山用品店にはチラシを置いて受講生を募集する。受講生に安全登山の初歩的な技術や植物の知識を現地講習し、併せて四国支部の活動を紹介する。1回あたりの受講生は10人程度を予定。講師は四国支部の会員。
	熊本	<p>「登山教室」年2回、6月と9月に実施。会員・会友と一般参加者：各行事ごと定員45名、年間90名。春と秋の花鑑賞を兼ねた登山教室で、会員は班長やリーダーを担当する。</p> <p>「青少年対象登山教室」35歳以下の登山愛好家30名 熊本市内の公立公民館で安全登山に関する知識を学ぶ。座学（4時間）と実技を支部会員が担当する。</p> <p>「登山研修会」夏と冬の2回、会員のリーダー研修と参加者の登山技術の研修を実施。各参加者：会員20名、一般20名。夏の沢登り、冬の雪山登山を通して、リーダー養成と参加者の登山技術研修を実施。</p>
	東九州	「第5回登山入門教室」座学3回、実践講座3回の計6回の初心者向け登山教室を実施する。教材、講師等全て会員と会員の手作りで実施する（定員は30名程度）
	宮崎	「ときめき宮崎の山歩き」：年1回実施。地元新聞で公募した約30名を、県内の山に会員でサポートし、基本的な登山技術・山岳遭難事故防止等のミニ講和を実施するなど登山振興を図る。
	YOUTH CLUB	<p>「安全登山講習」の実施</p> <p>雪山入門教室（机上4回、実地なし） 59歳以下の会員外を対象（余裕あれば会員も）</p> <p>初級登山講習会（机上12回、実地10回） 59歳以下の会員対象</p>
	遭難対策委員会	<p>「遭難対策セミナー」の実施：年2回、無雪期向け（7月）、積雪期向け（11月）に開催。一般参加者各回50名。講師は、県警山岳救助隊などから招聘する。</p> <p>「安全登山講習会」の実施：年2回、5月と10月に開催。一般参加者各回30名。ファーストエイド、ロープワーク等の安全登山技術を習得し、普段の山行に活かせる内容で実施する。他の委員会との共催、委員派遣等も含め調整する。</p>

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-11 冬山登山指導	北海道	雪崩講習会の実施：26年度の実績は3カ所で53名の内25名が会員外参加者。講習内容は以下 <机上講習> 雪崩発生のメカニズムから対処法・ビーコン使用によるレスキュー法 <実地講習> 雪質調査やレスキュー講習：日時 平成29年12月中旬から平成30年2月中旬の4回程度。場所 札幌市内での雪崩理論・ビーコン操作などの机上講習会・十勝岳周辺での実地講習。参加者 10名程度 講習資格者10名程度の会員が取得し講習を主宰
	青森	八甲田山スキーコースに地域関係者と共に遭難防止用の誘導竹竿を設置する。年2回2月と3月に実施 一般参加者60名。
	山陰	毎年、冬山で滑落・死亡事故が発生している為、大山の冬山パトロールを鳥取県警と連携し現地指導実施。土日、祭日に一泊二日の日程で会員2～5名と県警2名で冬季2回行う。 大山寺～夏道登山道～頂上 往復
I-12 身体障がい者支援登山	茨城	「茨城県 自閉症協会 支援登山キャンプ活動」年1回、7月～8月頃に、自閉症者とその家族30名前後と共に、茨城支部は茨城県自閉症協会主催の自閉症者登山キャンプ活動に協力し、支部会員指導による夏山登山を実施している
	埼玉	「障がい者とのふれあい登山」。平成29年4月9日（日）に一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会との共同主催で実施する。今回で7回目となる登山は、飯能市の天覧山～多峯主山～吾妻溪谷コースを予定している。参加者は、障がい者（坂道の上下りが可能であるという条件）とその家族、日本山岳会埼玉支部の会員、スポーツ協会職員等。
	東海	「視覚障がい者支援登山」（視覚障がい者を対象とし春季、秋季の2回開催。） 「スペシャルオリンピックス愛知との登山」（知的発達障がい児を対象とし春季開催。）
	熊本	NPO法人スペシャルアスリート熊本と共催で知的障がい者とその保護者を会員の引率で登山を実施（知的障がい者に登山の楽しみを味わってもらい、8月中旬に予定。） 参加者：会員25名、障害者15名、保護者20名
I-15 幼稚園児から中学生までの体験登山	北海道	子供サマーキャンプ第18回目を迎え、ツリークライミングや周辺の登山、キャンプファイヤーなどの体験を通じて次世代の登山愛好家を育成。今後は「山の日」制定事業として位置付け、長期的な視点で会員獲得を目指す。 場所：国立日高青少年自然の家からまつキャンプ場。 日時：平成29年7月末から8月初めの2泊3日。 参加者：子供・保護者 25名程度 支部会員は20名程度
	宮城	仙台市内の小学校が5年生を対象に実施している「泉ヶ岳登山」の支援事業として、仙台市教育委員会及び小学校と調整・連携を図り、生徒たちに安心して安全な登山を楽しんでもらえるよう5校程度を目標に支援する。
	山形	県内の小学校を対象に専門のイラストレーターから「学校から見える山」のパノラマ図と鳥瞰図の書き方を指導してもらい山の名称、山の民俗、植生、登山等に関する資料を作成し、自然景観への興味と感性を養う一助とする。平成29年度は山形（村山）地区の山を選定し継続して児童達の自然景観、山への興味関心を高め、感性を磨く一助としたい。
	福島	「山の日・親子登山」8月11日「山の日」に支部主催の親子登山を実施する。場所は安達太良山周辺とし、20組の親子登山を目標
	栃木	「親子登山教室」を夏休みに実施。栃木県教育委員会等の後援を得て実施する。青少年の人格育成の一助とする。参加人員は30名程度の見込み。支部会員は指導者・補助員として参加する。
	千葉	継続事業として、児童養護施設 社会福祉法人「春香園」の課外活動を、自然に親しみ、安全に登山する目的で引率。年3～4回。児童・職員 約10名。支部会員はボランティアで指導者・補助員として参加予定。
	越後	糸魚川ジオパーク子ども自然塾(仮称)：山の日事業として、山の日欄に記載。
	東海	親子のふれあい登山：幼稚園児を対象とした登山経験で秋季に2回開催 参加人員：幼稚園児100名、父兄100名、先生15名、支部員30名 程度が参加予定
	京都 滋賀	「ファミリー登山教室」年2回実施の予定。一般参加者年40名。地域の親子、家族のための登山教室を開き、山の楽しさを体験する登山教室を開催する。支部会員はボランティアとして指導者、補助者として約15名が参加。
次頁に続く	関西	「山の日」関連事業として毎年11月に、子供を中心とした「わんぱく探検」を実施する。「山の日」欄に記載

事業名	支部名 委員会名	事業内容
	北九州	「幸幼稚園の園児の遠足登山サポート」 1. 3月に卒園児デイキャンプを支援。風師山、総勢50人（支部員8人） 2. 5月は2日間にわたり風師山への遠足登山をサポート（総勢70人と60人、支部会員8人）
	東九州	「第16回青少年体験登山大会」 初心者に山登りの楽しさ、面白さを体験してもらい、登山の普及につなげていくことを目的に青少年をはじめ、一般の初心者を対象に体験登山大会を実施する。（過去15実施、参加者は毎年50名から60名程度）
	宮崎	「こども登山教室」 毎年夏休み期間中、主に小学生を対象に約25名を一般公募して、登山・野外活動など自然体験活動を、支部会員約20名。
I—16登山道整備	北海道	北海道山岳9団体構成の「北海道山岳交流会」のメンバーと連携し、以下の事業を実施。 ①山のトイレ整備～美瑛岳の山小屋周辺の携帯簡易トイレの管理とキャンプ場周辺の環境整備。 ②廃道復活等環境整備～廃道または廃道に近い登山道の笹刈り、登山整備を実施。
	青森	「八甲田山登山道整備ボランティア」 青森県観光国際戦略局観光企画課の要請を受け、北八甲田山系で登山道維持ボランティアとして、7月から9月の期間に登山道の整備を行う。 一般参加者延べ170名。
	岩手	毎年8月、岩手山山小屋管理に協力し、会員を派遣予定。
	秋田	「太平山歩道整備」 年1回 11月に実施。太平山歩道の刈り払い、案内板やベンチ等の補修・設置を行う。毎年6月第2日曜日に行われる「太平山山開き清掃登山」にリーダー派遣をし協力。
	山形	「清掃登山」を実施予定。平成29年度は、春季に庄内の湯ノ沢岳、秋季は村山の甑岳を計画し20名程度の参加を見込んでいる。
	福島	年3回（6月、7月、9月）荒廃している登山道の整備・復元作業を実施。特に県山岳連盟傘下の地元山岳会に働きかけて、幅広い参加を募
	栃木	「那須岳クリーンキャンペーン」 栃木県山岳連盟と共催で、那須岳周辺の登山道整備と清掃を行い、山岳環境の保全に努める。9月第1日曜日に実施。一般参加者200名程度。 「日光山系清掃登山」を実施し、山岳環境の保全に努めている。7月に実施。一般参加者200名。栃木県山岳連盟と共催で、日光山系の清掃登山を行い、山岳環境の保全に努める。
	埼玉	12月忘年山行時、山の清掃活動を実施。併せてチャリティーオークションを行い埼玉県障害者スポーツ協会に寄付する。 4月高尾グリーンセンター登山道整備 6月玉原高原でのブナ林一周と湿原観察
	東京多摩	東京都レンジャーとの協働作業で登山者の安全と登山道の拡幅・荒廃防止を目的とした登山道整備・清掃を行う。①雲取山登山道（石尾根）整備活動。5月実施。参加支部員10名。 ②奥多摩登山道周辺清掃活動。11月実施。参加支部員10名。
	富山	「高頭山」登山道整備（年1回、5月27日（土）に実施。支部会員が登山道整備を行う）。
	石川	「登山道整備活動」 1. 白山越前禅定道 三つ谷～杉峠 5月中旬 支部員10名参加予定。 2. 犀浅みくまり道 支部会員10名 「清掃登山」を「山の日」制定を記念し7月に実施。一般参加者15名。山への見識を深めてもらうため、コンパス、読図講習を併せて実施。
	信濃	徳本峠の登山道整備（5月、11月）。松本市、徳本小屋など関係団体と連携し、徳本峠越え登山道の整備保全を行う。
	岐阜	山岳パトロール：岐阜森林管理署内のパトロール（森林保全巡視・環境美化）。会員登録者が国有林を7名 平成29年～平成32年3月
	関西	六甲東お多福山ススキ草原復元の協業活動を「東お多福山草原再生・保全研究会」で実施し活動する。 環境省近畿地方事務所関連の大台ヶ原の利用に関する協議会に参加する。やまみち保全巡視活動、自然観察会、森林観察会を行う。
	広島	聖山山頂付近の景観回復及び環境整備並びに中央分水嶺（聖山別れ～奥匹見峠分岐）の登山道整備。高岳山頂付近の環境整備。
四国	徳島県が実施する三嶺登山道バイパス整備に向けた調査活動等に対し、他団体と連携しながら会員派遣等の協力を行う。また、夫婦池～見ノ越古道再整備に向けた調査を実施予定。国定公園内等において、NPO法人との連携により登山道整備及び清掃活動を行う。2回程度予定。三嶺登山道（登山口）周辺の美化のため、放置間伐材の収集整理を行う。	

事業名	支部名 委員会名	事業内容
	北九州	「英彦山清掃登山」 毎年4月に1回実施。総勢約60人が参加の見込み（支部員30人参加）。
	熊本	保全と清掃を実施するため「森林保全巡視登山」を4月と10月に実施。
	東九州	登山者の多い九重山の登山道を毎年場所を変えて選定し、清掃登山を実施する。
I-17山岳自然観察会の実施	岩手	地域の登山愛好者向けに女神山周辺の紅葉と滝めぐり、古道歩きなどの自然観察会を行う。支部会員はボランティアで指導者、補助員として参加予定。9月に実施、一般参加者10名
	秋田	秋田市仁別植物園の来園者に植物、樹木等の説明や自然観察会等を実施。（年4回一般参加者100名程度） 自然観察会等に支部会員がボランティアで指導者として協力している。（年4回、80名程度）
	埼玉	11月越生町教育委員会後援による大高取山自然観察会、・森づくり及び自然観察会（年3回）
	千葉	「小疇会員と行く丹那断層観察会」を4月に実施。地理学を専門とする明大名誉教授の小疇会員との観察会をこれまで2回行ったが、今回は、地域の登山愛好者に向けた一般公募とする。一般参加者 20名程度。 支部会員はボランティアで補助員として参加予定。
	東京多摩	地域の自然愛好家向けに地域山域内の自然観察会を行っている。年2回実施。①御岳山レンゲショウマ観察とロックガーデンハイキング。8月実施。参加者30名 参加支部員8名 ②高尾山「シモバシラ（氷の花）」観察会。1月実施。参加者25名 参加支部員8名
	熊本	5月下旬、阿蘇や五家荘の山野草の鑑賞、観察。一般募集して会員との交流も図る。
II-2山岳図書館の運営事業	神奈川	神奈川山岳誌プロジェクト（仮称）：5年計画で神奈川県下の2.5万分の1の地形図に記載された山名と峠及び登山対象となるピークのすべてに登って日本山岳誌の神奈川県版を作成し、それらの情報提供などを通して社会へ貢献する。一部の踏査コースを対象に、一般向け公募山行の実施も検討する。
	越後	『越後山岳』（第13号）の発行：登山記録・紀行・随筆・人物研究・山の動植物研究・山の詩、短歌、俳句など、越後ならではの会報を発行し、山岳関係者や一般市民へ登山文化を発信することで、登山の普及・啓蒙に寄与する。
	静岡	南アルプス登山史の編纂（本年編纂委員会発足予定） 刊行予定は2020年
	山陰	「雲伯の百名山（仮称）」の発刊。山陰の出雲、伯耆地方の山々から100座を設定し、神話や古事記の歴史に絡め踏査して、紹介する。2.019年の山陰支部創立70周年記念事業の一環として発刊予定。
	図書	「山岳図書を語る夕べ」「山岳史懇談会」などの講演会の開催
	III-1森づくり活動	北海道
青森		「白神山地ブナ林再生事業」を津軽森林管理署と協力して実施（6月、9月に一般の協力を得て実施。一般参加者約30名程度）。
福井		福井県越前町旧糸生中学校隣の山林にて、散策路の整備と苗木の植樹、花壇整備、作業に関する道具や材料を収納出来る小屋の建設。など4月～11月の間、毎月1回作業を行う。
岐阜		「権現の森林づくり」岐阜県林政部治山課との協働による森林づくりを実施：年14回実施予定、一般参加者約120名の見込み。①新道具小屋の建設 ②前年度設置の防獣ネットによる動物食害防除の成果調査 ③植樹祭の開催、登山道補修整備 ④地生え幼木（ブナ科、カエデ科を中心として）の保護育成
東海		「猿投の森づくり活動」（市民の森林体験のための整備、森の幼稚園、森の音楽祭の実施。） ①愛知県有林「やまじの森」での森づくり活動-猿投の森整備基本計画をベースとし、保健保安林・土砂流失防備保安林として整備を図りながら、既設遊歩道などの維持・水保土保全・生物多様性等環境機能の向上を目指す。②東大演習林での間伐作業③JAC所有地山桜フィールド-森づくりや森の恵みを享受できる基地として整備する。 作業活動：毎月2回の定例作業に加え年間数回の臨時作業、参加人員：年間累計約1300名
次頁に続く	関西	高槻市にある近畿中国森林管理局管内の「日本山岳会関西支部本山寺の森」において、関西支部の会員及び一般公募の会員41名により、活動主体「本山寺山森林づくりの会」で森林整備・森林保全の活動を行う。毎月2回以上森林整備、自然環境の保全を行う。近畿中国森林管理局長と協定の更新を行う（2015年4月～2020年3月）。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
Ⅲー1森づくり活動	宮崎	「水源の森づくり」（田野の森（宮崎市）、ロキシーヒル（西都市）、野尻の森（小林市）総面積1.1ヘクタールに広葉樹 2,000本を植樹して、毎年3回の下草払い、枝打ち、補植等の作業を延べ40名で行い、森林の育林・保護活動を実施。 その他、宮崎支部が団体会員として入会している「水源の森づくりをすすめる市民の会」の育森作業に年3回延べ15名が参加して作業に年3回延べ15名が参加して、森づくり活動を行っている。
	高尾の森づくりの会	東京都八王子市裏高尾の小下沢国有林にて、毎月第2土曜日を定例作業日とし、除間伐、下刈り、つる切りなどの森林整備作業をボランティアで実施する。また、間伐材を利用した木工、並びに親子森林体験スクールなどの普及啓発活動を併せて実施する。年間延べ2,000名の参加を予定する。 「三宅島緑化再生活動」三宅村当局との協定に基づき、国土緑化推進機構の助成を受けて、三宅島の火山災害跡地の緑化再生活動を昨年に継続して実施する。今期も例年通り5月と10月に三宅島へ赴き、植樹や道（遊歩道）づくりなどの作業をボランティアで行う。現地参加者を含め各回25名（延べ100人・日）の参加を予定する。
Ⅲー2山岳環境保全活動	北海道	北海道の補助事業「高山植物盗掘防止事業」を受託。指導員・監視員の派遣協力。現地参加者を含め各回25名（延べ100人・日）の参加を予定する。
	岩手	年2回、5月と11月に実施、一般参加者各10名。11月には地域信仰が生きている黒森神社の霊山、黒森山の登山路清掃を行う。支部会員はボランティアで指導者、補助員として参加予定。
	宮城	支部及び会員等が行う登山活動を通じ、山岳人として自然保護の大切さを認識し、登山中のゴミ拾い等様々な機会を捉えて自然保護の重要性についての啓発活動を実施していく。また、荒れた登山道などについては整備に努める。更に、県から委嘱されている宮城県山岳環境指導員を中心に適切な指導、巡視に努め山岳環境の保全を図る。
	群馬	群馬県北5市町村と群馬県山岳連盟が主催する「上州武尊スカイビューウルトラトレイル」普及発展に寄与すると共に、相反する環境問題についての啓発活動を推進する。
	埼玉	10月玉原高原でブナ林・湿原観察29年1月に埼玉の自然シンポジウムを開催。
	東海	猿投の森の生物調査。
	山梨	比良ダング坊遺跡の整備、自然保護活動を行なっている。支部会員、友の会会員が中心となって活動する。参加者10名。
	広島	NPO法人西中国山地自然史研究会との合同事業として、戦後牧場として開拓された原野を、本来の湿原に再生し、鷹などの猛禽類や野生植物の再生を試みる。広島支部は「霧ヶ谷湿原自然再生地」の最下流部約2.5ha、上流1haの保全活動を担当する。
	北九州	九州森林管理局より受託している森林保全巡視活動を1年間通じて、受託した20名の巡視委員が各山域で実施するとともに、年2回、一斉巡視活動を行う。
	東九州	平成25年から続けている祖母・傾山系のスズタケ枯死とシカの食害実態調査を、大分県植物研究会との共同作業で実施する。6月と10月の年二回、定点観測と地点移動観測の調査で実施。
	自然保護委員会	「写真が語る山の自然：山岳写真データベース」山岳会会員や一般から過去の山岳写真を集め、現在の写真とを比べて山の自然環境がどう変わってきたかを調べるためのデータベース。一般の登山者や研究者が利用者として見込まれる。 「機関誌 木の目草の芽」発行：自然保護委員会の会報「木の目草の芽」を年6回発行。配布は日本山岳会各支部、山岳団体、自然保護団体や関係者、自然保護活動に関心のある人達。内容は自然保護関係者からの記事、支部活動の報告。発行・編集は自然保護委員会
他1-1	山行委員会	「救急救助講習会」の実施。6月に実施予定。会員外にも参加を呼び掛ける。会員のため登山を実施（年5～8回程度）。 <国内外の各種山行の企画・実施>当委員会の使命を踏まえ、会員のニーズに応える各種山行等を企画、実施する。「安全に楽しく、全国の仲間と一緒に、憧れの山に登ろう」が、実施のコンセプトである。年間13回程度の山行等を実施予定。
他1-3	支部事業委員会	「全国支部懇談会等」主な支部事業への参加。新支部設立の推進及び支部活動への指導。
他1-6	会報編集委員会	会報「山」のNo.863～No.874を発行する